

与謝野晶子と女性歌人

与謝野晶子生誕140年記念
企画展

『みだれ髪』から『チョコレート語訳 みだれ髪』まで



平成30年

4月27日(金)～5月27日(日)

午前9時～午後6時(入館は午後5時30分まで) 休館日5月15日(火)

さかい利晶の杜 企画展示室

観覧料：一般 300円 高校生 200円 中学生以下 100円

※「与謝野晶子記念館」「千利休茶の湯館」の観覧券で企画展示室にもご入場いただけます。

協力：与謝野晶子倶楽部 産経新聞社

【みだれ髪】初版(明治34年)堺市博物館蔵

主催



山川登美子・茅野雅子(旧姓増田まさ子)・与謝野晶子共著
詩歌集『恋衣』(明治38年) 堺市博物館蔵

与謝野晶子生誕140年記念 企画展



与謝野晶子と女性歌人

-『みだれ髪』から『チョコレート語訳 みだれ髪』まで-

平成30年 4月27日(金)~5月27日(日) さかい利晶の杜 企画展示室

堺を生誕の地とする偉大な近代歌人である与謝野晶子
(明治11年~昭和17年)生誕140年を記念し、
晶子の歌人としての輝かしい業績をたどるとともに、
あわせて晶子とゆかりの深い女性歌人の活躍を紹介することによって、
明治・大正・昭和そして平成という時代における女性歌人の
軌跡を明らかにします。



与謝野晶子 ©文化学院



茅野雅子 増田健二氏蔵

晶子とともに奏でる女性歌人たちの歌典

ゆかりの深い女性歌人の歌集から、晶子の女性歌人としての先駆的な意味を明らかにします。

わが息を芙蓉の風にたとへますな十三絃をひと息に切る

山川登美子 詩歌集『恋衣』(明治38年)より

我が膝に子のすがる時おほけなくまりあの如き心わくかな

茅野雅子 歌集『金沙集』(大正6年)より



与謝野晶子(右)と
山川登美子(左)
山川登美子記念館蔵

明治・大正・昭和に生き、歌う晶子の歌林

それぞれの時代を代表する歌集を展示し、晶子の近代歌人としての歩みをたどりま

夜の帳にささめき尽さし星の今を下界の人の鬢のほつれよ

清水へ祇園をよぎる桜月夜こよひ逢ふ人みなうつくしき

与謝野晶子 歌集『みだれ髪』(明治34年)より

現代に響く女子歌人たちの歌心

晶子短歌の魅力がいまなお現代の女性歌人たちに息づいていることを明示します。

木染月・燕去月・雁来月 ことばなく人をゆかしめし秋

今野寿美 歌集『花絆』(昭和56年)より

白藤のせつなきまでに重き房かかる力に人恋へといふ

米川千嘉子 歌集『夏空の權』(昭和63年)より

鳥居から砂利道になるほの白く踏み入るときに腕触れ合いぬ

永田紅 歌集『日輪』(平成12年)より

展示解説

与謝野晶子倶楽部 太田登 会長
による展示解説を行います。

●日時：5月3日(木・祝) 14時~ 20分程度

●場所：さかい利晶の杜 企画展示室

●参加：無料・申込不要(展示観覧券を事前にお買い求めください)